

(別添)

【アーティスト紹介】

佐倉 康之(さくら やすゆき); 壁画家



<http://members.jcom.home.ne.jp/4050881901/>

1967年 大分県に生まれる

東京芸術大学油画科でフレスコ画の絹谷幸司氏に師事。

大学院壁画科ではモザイク画の麻生秀穂氏に師事し修了時には壁画部門の首席で第64号美術博士号を授与される。

イタリア政府給費留学生としてミラノ市立芸術大学(イタリア)に留学。

大学卒業後に壁画工房さ組設立。医療施設やレストランなどの壁画を多数手がける。特に高齢者複合施設『長寿福重館』西浦天宣氏とのコラボレーション“アート&メディカル”プロジェクトは“癒しの壁画”を医療の一環として展開。『全国癒しの医療学会』(沖縄)で“壁画療法”として発表され高い評価を受けた。フレスコ、モザイク、漆喰、陶壁と素材論のスペシャリストであると同時に異業種コラボレーションに意欲とアイデアを発揮させる



【作品(陶壁画の為の習作): ジョーヤラに寄せて】

風の豊後水道に色とりどりの大漁旗で飾られた二船が浮かぶ頃、故郷にも秋が訪れる。

大分県佐伯市霞ヶ浦の 五丁の市『ジョーヤラ』は豊漁と海の安全を祈願する祭だ。

船の上で五色のはちまきに赤い腹掛け姿の若者達が『ジョーヤラ(漁あれ)』というかけ声にあわせて力強い踊りをみせる。

それは勇ましくも喜ばしくもあるハレの日の光景。

秋晴れの高い空、きらきらと光る海、祭り囃子の郷愁と心が沸き立つような高揚が同時に在る。大漁旗がたなびき色彩が溢れ出づる元気が湧き上がってくる『原色』の日本がある。

さくら やすゆき